

しべつ

昭和57年

1/1

賀正



トドワラの夜明け

西山陽一氏撮影(住吉町)

— 主 な 内 容 —

年頭のあいさつ	2~6面
白樺と針葉樹に囲まれた金山スキー場・せせらぎの宿へどうぞ	7面
町に20万円を寄付(燃料小売店4社)	8面
歳末見舞金を配分(町社会福祉協議会)ほかお知らせ	8面

— 人のうごき —

〈12月1日現在〉

世帯数	2,188世帯 (△ 6)
人 口	7,369人 (△14)
男	3,676人 (△13)
女	3,693人 (△ 1)
※()内は前月比	

とうございます

標津町長

小 野 幸 三



厳しい中にも昭和五十七年の新しい年を、皆様と共に迎えることのできましたことをお慶び申し上げます。

幾多先人が築いた古き良き歴史と、未来に向ってたくましい歩みを続ける標津町の進路をおあづかりする町長として、私は、その責任と使命の重大さを銘肝し、町政推進に努めてまいりました。

しかし乍ら、過ぎ去った昭和五十六年に想いをおこすとき、大型プロジェクトとして国・道に働きかけをしてきた標津川のさけ・ます増殖モデル基地の建設は、本年

度国における調査費が計上され、構想の段階から実施への展望が開かれてきたことは朗報の一つではありましたが、反面、国鉄・営林署問題は、当面統廃合を回避でき

たものの先行き相も変らず厳しく、また、チーズ工場の川北誘致運動は、ついぞ日の目を見ることがなく終えんをむかえ、加えて、町全体を覆う不況沈滞ムードは、これをぬぐい去るには至らなかったなど、今後に残された課題は多いといわざるを得ません。

ひるがえって、低成長を余儀なくされたわが国経済を顧みま

に、長く暗いトンネルに突入したまま、未だもってこれを抜け出せず、こうした影響をともに受けて昭和五十七年度の国・道の予算編成方針は、ゼロ・シーリング（伸び率ゼロ）の厳しい状況の下にあります。本町においては、町財政の地域に与える影響を熟慮し、積極型予算の展開に努めておりますが、厳しい状況をふまえ、新しい年に即応した新しい感覚で、今新ためて、惰性を排し、効率的・重点的な行財政運営に心するものであり、それには「町政の主人公は、あくまでも町民である」との理念で、各地域の方がたとの話し合いをいっそう深め、将来の標津町には何が必要かを、適確に判断し、必要な施策については勇断をもって実施する所存であります。

新年度は何よりもまず、地場産業開発とこれに関連する企業誘致に積極的に取り組み、雇用間口の増大による過疎化に歯止めし、町の活力づけを最重点に、「さけ、ますモデル基地建設」、近代的な農村を創造するための「農村総合整備事業」の推進、内外の評価の高まってきた「ボー川史跡自然公園」の充実を期するときでもあり、ま

た、交通の拠点であり観光施策の要となるべき「駅前開発」の計画具現化と、近代的市街地形成を旨とする「標津市街国道拡幅事業」の仕上げる年でもあります。さらには、金山地域の「温泉開発」「スキー場」の充実が注視され、将来にあつては、「文化会館」、「北方水族館」の建設を夢見ております。

このように、より高いまちづくりの理想からみますと、まだまだ宿題は多い訳ですが、活気に満ちた豊かな郷土を建設するには、内政の要となるべく職員と一丸となつて、町民の生活を肌で感じ、問題解決者の役割意識をもつなかで、なされる最善をつくし、難局を乗り切る決意であります。

以上述べて参りましたが町づくりの基本目標を基軸に、人間尊重を基本理念とした、「和やかなかに、活力に満ちた、住み良い、温かな町づくり」に全力を傾注する施政の一端を披瀝し、心からなるご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

拙筆にあたり、皆様のご健康を祈り、お仕事のご繁昌とご一家のご繁栄を願い、年頭のご挨拶といたします。

新年あけまして おめで

標津町議会

議長 大沼善雄



新年あけましておめでとうござ
います。希望に満ちた輝かしい新
春を、お家族揃って迎えられたこ
とと存じます。

激動の一九八〇年代と言われて
おりますが、昨年も正にそのとお
り推移したようであります。経済
不況は長引き、商工業は依然とし
て低迷を続けています。農業につ
いても、四年連続の乳価の据置き、
漁業も、北海道は空前の豊漁とい
われながら、本町は、ノルマ達成
者ゼロという不振に終るなど、本
町の経済全体が停滞した年であり
ました。

時あたかも、昨年暮れ国は行政
改革を推進することを決定いたし
ました。行政改革のねらいは、国、
地方を通じて財政の簡素効率化を
実現、公共団体の機能を縮少し、

民間の活力を拡大することであり

ます。しかし、政府は、当面国の
財政再建に重点を置いた感があり、
歳出の大幅削減をしようとしてい
ます。これは補助金の削減につな
がり、地方へのしわ寄せ、弱者へ
のしわ寄せが心配されます。

これらのことを考え合せると、
明年度の本町の財政運営は相当厳
しいものになりそうです。歳入で
は農業、漁業の不振による税収入
の落ち込み、国からの補助金削減
等による歳入不足が予想されます。
一方歳出では物価、人件費の高騰
などによる経費の増大など、頭の
痛いところです。

町長も、十二月議会で、明年度
は新規事業見送りの態度を表明し
ております。国の行政改革は短期
間で終るものではありません。地

方団体も長期にわたりその影響を
受ける覚悟が必要です。

本町も、国の行政改革を他山の
石として、この機会に独自の行政
改革に取組み、組織の見直し、既
存施設の有効的活用、予算の効率
的運用など徹底した改革に積極的
に取組んで、この難局を乗り切ら
なければならぬと考えます。

さて、本年は、かねてからの懸
案でありました駅前開発が着手さ
れます。又、製網会社の進出も予
定されているなど明るい見通しも
あります。駅前開発は、旧漁組の
事務所を中心として駅前ターミナ
ルを整備し、本町を通過する六〇
万人の観光客の足を止める切り札
と考えられています。この施設が
本町の観光、及び交通の拠点とし
て飛躍する足がかりとなるよう大
きく期待されています。

長い不況からの脱出を願ひ、農
業、漁業、商工業、林業など産業
の安定的振興を図り、活気ある町
づくりに議員一同真剣に取組んで
参る所存であります。町民各位の
ご叱正をお願い申し上げます。

皆様の二多幸を祈念し、年頭の
ご挨拶といたします。

社会人として

新しい門出

成人式は一月七日

先月号に、昭和五十七年の成人
者を紹介しましたが、とくに、本
町での成人式に参加を希望する方
がおりますので紹介します。

先月号の掲載で、氏名に誤りが
ありました。訂正しておわびいた
します。

標津町成人式に

参加を希望する方

● 滝田 秀幸 さん
● 吉田 孝典 さん
● 吉田 健一 さん
● 中島 和昭 さん
● 大山 修 さん

氏名が間違っていた方

● 双葉町

● 藤本 豊 さん
● 藤山 豊 さん
● 西古多 榎

● 黒沢 穂子 さん
● 黒沢 千恵子 さん
● 茶志骨パイロット

● 上田 明子 さん
● 上田 朋子 さん

とうございます

路上駐車は除雪作業をおくらせる最大の原因です 絶対にやめましょう

標津町農業協同組合

組合長理事

吉 田 昇



新年明けましておめでとうございます。町民のみなさまには益々ご健勝で希望に満ちた新年をお迎えのことと存じ心からお慶び申し上げます。

平素、農協運営につきましてもご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は私共酪農にとって乳価の連年据置き、生産資材を始め諸物価の高騰、需給不均衡に起因する生乳生産計画等波乱含みのスタートでした。これに加え、長雨、低温続きなど異常気象により乳牛の粗飼料不足や質的低下を来たなど多難な年でありました。

このような厳しい環境下でありましたが、牛乳生産では四万トンを超え、計画をやや上廻る実績をみることが出来ました。しかし一

方畜肉個体販売では不振であり、とりわけ初妊牛、肥育素牛の価格低迷、消流不振が影響し、酪農経営にとって大きなマイナス要因となりました。

ご承知のように酪農は多額の投資を必要とし、このため負債償還が経営上の大きなネックとなっていますが、各関係機関のご指導ご協力のもとに酪農経営負債整理資金融通事業等により一部長期低利への乗り替えを行うなど対策を講じて参りました。

牛乳消費拡大運動については、全道の酪農民が自ら資金を拠出し運動を展開して三年目に入り、昨年は全国的な夏場の気温上昇もあり、飲用牛乳の消費が大きく伸びた結果、牛乳、乳製品の民間過剰在庫も無くなりやや明るい材料も出て

きました。

最近の酪農情勢は、国際化社会・経済動向の影響を大きく反映する時代を迎えました。従って問題の多くは、単に農業だけで解決できないという性格のものが目立って参りました。このことは農業も常に新しい内外の環境や条件を見極め、事態に適合した諸対策を講じなければならぬ事を示唆していると言えましょう。

昨今、各界に於ける農業批判などありますが、農業は他産業と同一視出来るものではなく、長期的にも国際的にも食糧は不足して参ります。私共農業者は、国の根幹をなす食糧生産という社会的使命を認識し、努力して参りたいと思います。

本年も引続き極めて困難な状況下でのスタートですが、ひとり酪農だけが厳しいものでなく、今後さらに生産性の向上、経営コストの引下げなどあらゆる努力を傾注し、町民各位、他業種との協調を旨とし最善をつくして参りたいと存じます。

本年もよろしくご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

昭和五十七年

今年はいぬ

戌年

いろはガルトの一枚目は、ご存じ「犬も歩けば棒（ぼう）にあたる」。

これは「物事をなそうとする者は、それだけ災難に遭うことも多い」という意味とも、「やってるうちには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味だともいわれています。

今年は、戌（イヌ）年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし——といきたいものです。

犬といえば、知恵・勇気・誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲爺（はなざかじい）」に登場するのも、そういう犬たちです。また、遠く「日本書紀」には、白犬が倒れた主人を守って餓死するまでそばを離れず、その心を哀れんだ天皇の命で、主人と並べて墓に葬られたという、忠犬ハチ公

新年あけまして おめでとう

標津町商工会

会 長 疋 田 敏 一



新年明けましておめでとうございます。
町内の皆様方には、新しい年を希望をもってご健勝でお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

さて、最近における本町経済の動向は、一次産業の生産不振、個人消費の低迷、さらには住宅投資の落ち込みなどにより停滞感を一層強めており、中小企業を取りまく景況も企業倒産の発生をみるなど、非常に悪化の傾向にあると言わなければなりません。

予想される本年の経済も、国際的には、ますます悪化する貿易摩擦、発展途上国の追い上げなど、また、国内的には需要構造の変化、消費の停滞など多くの問題が山積し、これらが町の経済にも直接波及し、依然として厳しい状態が続くものと覚悟をしなければなりません。

しかし、国においては、いよいよ本年より行政改革の第一歩を進めることになり、これらが地方行財政、経済の上にもどのような影響をもたらすことになるのか、我々は強い関心をもって対応していかなければならないと思われま

す。また、我々経済にかかわるものは、かつての高度経済成長の夢は捨て、現在の低成長に対応できる経営体制をつくりあげることが最も肝要であり、その手段は、他に依存することではなく、自らの経験より得た教訓を基調に、いわゆる自助自立の精神に立脚した強固な改善策でなければならぬと思うのであります。

地域づくりの基本目標は、「個

償却資産の申告は一月一日までです。忘れずに！

性豊かな地域社会の発展」と「調和のとれた魅力ある地域環境の創立」であり、商工会としてもこのために最善の努力をしていかなければならないところであります。

特に昨年は、商工会法の一部が改正になり、商工会も、地域経済はもとより、地域住民の福祉の増進に寄与することも大切な事業と定められたのであります。我々は、なお一層、商工会の発揮すべき機能と担うべき役割をじゅうぶんに自覚し今後処してまいりたいと考えております。

標津の商店街も、町ならびに関係機関の格別の計らいにより環境の整備が進んでおり深く感謝を申し上げる次第です。今後は、個々の経営体質の改善に各自が独力をしていかなければなりません。また、川北商店街についても、更に町のご支援をお願いしていかなければならないところですが、自らも自主自律の精神をもって努力していかなければならないと考えております。

今後とも一層のご叱正とご鞭撻を心よりお願いいたし、最後になりましたが、住民皆様のますますのご健勝、ご繁栄をお祈りし、新年のご挨拶と致します。

の先組みたいな話が記録されています。

そんなはるかな昔から、犬は人間の大切な「協力者」だったわけですから、いまも狩猟犬、牧羊犬をはじめ、新しいところでは盲導犬、救助犬、警察犬などとして優れた能力を発揮しています。

ところで、妊産婦の帯祝いには「戌の日」が選ばれるように、犬は安産・多産の象徴になっています。では、イヌ年生まれの人ほどのくらいいるかといえますと、意外に少なく全国でざっと八百七十四万人（総理府統計局調べ）。日本の総人口を十二支別に分けてみると、十一番目になります。ちなみに、最も多いのがサル年生まれの人で、約三十三万人、いちばん少ないのがトリ年の約八百三十六万人です。

そんなわけで、十二支も一種の「生活美学」とみれば、なかなか趣深いもの。犬の特徴にあやかって、ことしもすばらしい年にしたいものですが、「一犬虚に吠（は）ゆれば万犬災に伝う」のことわざもあります。自分の目で事実を見定め、自分の心で判断するように心がけ、軽々しい付和雷同は避けたいものです。

新年あけまして おめでとうございます

標津漁業協同組合

組合長理事

馴 山 猛



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昭和五十七年の輝かしい新春を、町民の皆様とともに迎えることが出来ましたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、昭和五十六年を顧みますと、漁業をとりまく環境は厳しく多難な年でした。

本年は、諸物価の高騰に伴い、漁業資材、人件費などの値上がりによって生産コストが上昇し、反面、魚価は低迷し、漁業経営の将来は、逼迫の状況が予想されます。

このような中であって、今後、漁業が食糧産業として、また、本町の基幹産業として恒久的発展をとげるためには、資源の維持増大

が重要であるとともに、その資源の有効な活用によって経済効率を上げることが重要課題であると思います。

本年は、昨年にも増して漁業情勢は厳しくなることが予想されますので、これに対処するためには組合員の心と力の結果によってこの難局を打開して参らなければならぬと思います。関係機関、関連産業と綿密な連携のもとに、ご指導を賜りながら事業推進に役職員が一体となって鋭意努力して参りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、町民皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

たばこは町内で買います(110本で310円、55年度で3、150万円が町の収入)

歳時記

初もうで



「せっかくの初もうでだから、おさい銭は千円のもりだったが大混雑でさい銭箱まで近づけず、お札を投げて届かないから、百円玉を高く投げてきた」とは、ある初もうで客の話。

昨年一月一日～四日間の初もうで客は、全国で約七千万人と前年に比べて約四百六十万人も多く、史上最高を記録しました。これは、国民十人のうち六人が初もうでをした勘定になります(警察庁調べ)。もともと、このところ各地で七福神もうでに人気が出てきているので、一人で七カ所回った人もいるわけですが……。

初もうでは、正月にその年初めて神社やお寺に参詣することですが、昔は、恵方(えほう)まいりとか恵方もうでと言って、その年の「吉の方角」にある神社仏閣にお参りすることが多か

ったようです。

恵方とは、中国から伝わった十干十二支の思想に根ざすもので、その年の干支(えと)によって「吉の方」と決められた方角を言います。そこで、その方角から幸運がくる、つまり歳徳神(としとくじん)が訪れてくると信じられていました。こうしたことから、その年の「吉の方角」にある杜寺にお参りして、その年の福徳を祈ったのです。

しかし、最近では、交通の便が優先し、とりわけ都会に住む人たちは、終夜運転をしている沿線の神社やお寺に人気があるようです。また、マイカーで出かけて、初日の出を拝みながら参詣するという人も増えているようです。

それはともかく、ことしも良い年でありますように――。

白樺と 針葉樹に囲まれた 金山スキー場・ せせらぎの宿へどうぞ

五百円

金山峡温泉せせらぎの宿も、去年の一月十三日オープンし、十月、十一月の二月間機械故障のため休業し皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、今は故障も直り営業致しております。併せてご利用ください。

営業時間

午前九時から午後九時まで

使用料 (大広間)

今年で三シーズンめを迎える金山スキー場の安全祈願式が先月十九日行われました。

昨シーズンは、五万一千人のスキーヤーでにぎわい、今シーズンはこれを上回ることが予想され、また、皆さんの要望などもあり、今までのゲレンデを改修し、さらに上級者向けに林間コースを増設しました。

営業時間は午前九時より午後四時まで、リフト利用料、貸スキー料はつぎのとおりです。

リフト利用料

大人一回券 百三十円
大人回数券(十一枚) 千三百円
子供一回券 八十円
子供回数券(十一枚) 八百円

貸スキー料

二時間千円、三十分超すごとに

年金コーナー

個人年金は 私的年金

個人年金は、従前、信託銀行、生命保険会社等の民間金融機関で取り扱っていましたが、昨年九月からは郵政省も加わり話題になっています。

この個人年金は、国民年金や厚生年金などの公的年金とは別に、さらに老後の備えを希望する方が任意に契約する貯金で、郵便年金も同じく、「私的年金」です。

個人年金は、取り扱い金融機関によって、それぞれ内容は違いますが、その多くは長期の貯蓄の受け取り方法を、年金に似た型で分割で受け取るようにしたもので、すべての年金給付は、加入者の納めた保険料の掛金を、個々人の生活設計に合ったかたちで自由に選択できるようにになっています。

どちらが有利か 国民年金と 個人年金

国民年金と、個人年金はどちらが有利かという話題をよく耳にしますが、個人年金は自らの努力で

貯金したお金を自分の老後に計画的に受け取る仕組みのものであり、国民年金と個人年金を直接比較して有利・不利を論ずることはできません。国民年金は「公的年金」、個人年金は「私的年金」であるというところをお考えいただければよろしいかと思えます。

●国民年金の特徴
●国民年金は物価スライド制をと

スーム・イン サークル

①

標津町
ボランティア・クラブ

私たちのクラブは、現在二十一人で活動しています。昭和五十一年、標津町青年ボランティアクラブとして発足しました。



り入れているため、将来もインフレなどで、年金が目減りすることがありません。

●国民年金は受け取る年金の三分の一に相当する額を国が負担しております。

●国民年金は事務費や人件費等の必要経費を保険料の中でまかなうことなく、全額国が負担しております。

し「標津町ボランティアクラブ」として、広くボランティア活動を行おうと再出発しました。

活動の中心は町づくりで、去年から五カ年計画で町の木「ななかまど」を町内いっばいにしようと植樹しています。そのほかに、ゴミ拾いなど町をきれいにする活動を主に行っています。去年は、サケのそ見学でにぎわった蕨別川河口周辺の清掃をしました。あき缶や紙くずが、大きなビニール袋十六にもなり、「きれいな町・標津町」をめざす私たちにとっては、まことに悲しいことでした。

現在、きれいな町づくりをしようとして今後の活動を計画中です。

入会希望の方は、役場②2131星京子か山口将悟までどうぞ。

町に二十万円を寄付

燃料小売店四社



去る十二月十五日、町内で燃料小売店を経営する太平洋石油販売(株)標津営業所(所長・森常雄さん)、(株)近藤商店(代表取締役・近藤忠男さん)、標津アポロ石油(代表取締役・後藤十郎さん)、(株)三共燃料(代表取締役・高橋良子さん)の四社が小野町長を訪れ、町のために役だててくださると二十万円を寄付されました。

これら四社は、本町が推し進めている新生活運動をご理解くださり、従来行ってきたお客様への歳暮を廃し寄付されたものです。

歳末見舞金を配分

町社会福祉協議会

昭和五十六年度の歳末見舞金、みなさんの善意で二百八十三万七

広報しべつの表紙写真を皆さんから募集します くわしくは総務課広報係まで

千七百三十九円(十二月十八日まで)にもなりました。厳しい社会情勢にもかかわらずご協力くださいましたことに深く感謝申し上げます。

当協議会では、先月十五日に理事および評議会を開催し、つぎのように配分致しました。

▼要保護家庭分(六十一世帯) 六十二万三千円 ▼独居老人分(二十八人) 十四万円 ▼長寿者分(八十八歳以上の方十二人) 六万円 ▼長期入院者分(六ヵ月以上の方四十九人) 二十四万五千円 ▼長期自宅療養者分(六ヵ月以上の方二十一人) 十万五千円 ▼社会福祉施設入所者分(三十六人) 十八万円 ▼福祉灯油支給者分(要保護家庭および独居老人八十九世帯) 四十六万九千九百二十円 ▼北海道共同募金会へ 百一万四千八百十九円

※このほかに、町では、生活保護世帯に歳末見舞金を、要保護家庭と独居老人に福祉灯油を支給しました。

農業基本調査に

ご協力ください

北海道農業基本調査が二月一日現在で実施されます。

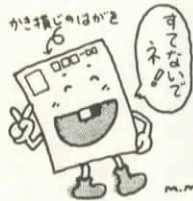
この調査は、北海道農業の実態を把握して農政の重要な基礎資料とするものです。

調査の対象となる農家および農家以外の農業事業体には、調査日の前後に調査員が訪問しますのでご協力ください。

調査についての問い合わせは、役場総務課企画調査係 ☎213 1内線105までどうぞ。

書き損じても

拾てないで



官製はがきで、書き損じたものや多く印刷しすぎてしまったあいさつ状などは、郵便局に持っていき、新しいはがきと取り換えてくれます。

交換手数料は、次のとおりです。
●通常はがき 一枚五円 ●往復はがき 一枚十円 ●このほか、ミニ・レターと呼ばれる郵便書簡も一枚十円で交換してくれます。

ただし、はがき、郵便書簡とも、切手に相当する部分を汚したり、傷つけたりしたものは、交換できません。

寄付

ありがとうございます

社会福祉協議会へ

香典返しを廃し

▼齊藤 勝男 東川北
▼中島 輝 川北旭町

全快祝を廃し

▼齊藤 稔 古多糠
▼今野 武右衛門 崎無異

活動資金として

▼山崎 勝行 住吉町
▼標津町女性ドライブクラブ

▼聖友 標津
▼中標津町ロータリークラブ

(敬称略)

小遣いを寄付

宗形正男さん(桜木町)の長男

努くん六歳が、「心身障害児のために使ってください」と、今まで貯金していた小遣いを標津町手をつなぐ親の会に寄付しました。

神内正義会長は、「六歳の努くんの善意に感心しました。会の活動の励みになります」と話していました。

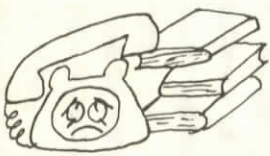
1・2月の不燃物収集日

▼一月六日(水)
▼二月三日(水)
川北市街地区・伊茶仁
忠類・浜古多糠・薫別
崎無異・古多糠市街

▼一月七日(木)
▼二月四日(木)
新川上町・川上町
栄町・緑町
弥栄町

▼一月八日(金)
▼二月五日(金)
本町・鳩ヶ丘町
双葉町・桜木町
住吉町・東浜町

先月号の年末年始の業務で、燃えないゴミの収集日が一月四・五・六日となっていたのは、一月六・七・八日の間違いでした。訂正しておわびします。



電話局より NO.6

●受話器は
きちんとかけましょう
年賀状のお礼は電話でどうぞ